



みなみの風

【発行日】
令和7年7月2日
【発行者】学校長

《学校教育目標》 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成
学校生活における合言葉「生き生きわくわく」と「3つの『あ』」

7月に入りました。先月には町の大きな催しであるあじさいまつりも無事終了し、多くの観光客がお越しになったようです。校内に咲くアジサイも、真っ盛りという状況ではありませんが、子どもたちを、そして教職員を快く迎えてくれる貴重な存在です。

さて、今月は1学期のまとめの月です。6年生のリーダーシップのもと、学校において子どもたちは様々な面で成長を示してきましたが、ご家庭ではいかがでしょうか。昨年度の子育てアラカルトでお伝えしたかと思いますが「学校は舞台、家庭は楽屋」で子どもたちはバランスをとっているのです、ぜひ支えてあげてください。



防犯教室で学ぶ ～いざという時のために～

今年度に入り、世間では子どもたちが犯罪に巻き込まれるということが、継続して話題になっています。少子化問題が叫ばれる中、安全・安心が担保される世の中ではなければなりません。



当日は、警察関係者の方々からお話をいただき、対応の仕方を学びました。いざという時には、なかなか声を出すことが難しい状況も考えられるので、防犯ブザーは有効になります。ランドセルへの確実な携帯をしてくださる保護者の方々に感謝します。

本校では、継続して防犯教室を開催し、自ら命を守るためにどのような行動すればよいかを学んでいます。写真は、1年生が参加しているときの様子ですが、みんな真剣な表情をしていました。

しかしながら、他人を疑うことが当たり前の世の中にはしたくないと思うのは私だけでしょうか…

自転車運転免許証交付 ～命を大切にすることが最優先～

4年生が5月に受講した「自転車運転講習会」を無時修了したことを受け、6月10日(火)に町担当課の調整のもと、町長さんと交通指導隊長さんが来校され、自転車免許の交付が行われました。

各学級からそれぞれ1名、計4名が代表して町長さんから免許をいただくことができました。今後は、免許をいただいたことに甘んじることなく、安全運転に心掛けてほしいと願っています。

さて、出張時に自家用車で移動するときがあるのですが、たまたま子どもたちが自転車に乗ってどこかに遊びに行く姿を見かける時があります。私とすれ違っていることには気付いていないと思われますが、必ずしも安全を意識しているとは言えない状況を見掛けます。何を優先にすべきなのか、継続して子どもたちと考えていきたいと思います。



子育てアラカルト⑬ ～ゲームの魅力～

ゲーム症(障害)という言葉をごどこかで聞いたことがありますか？パソコンやタブレット、スマホ等も含んだいわゆる「ゲーム」に熱中し、やめられなくなってしまったり利用時間等を自分でコントロールできなくなったりして、日常生活や学習に支障が出る精神疾患の一つであるといわれています。具体として、学校とのかかわりでいえば、「朝起きられない」「昼夜逆転」「遅刻や欠席が増える」などが挙げられます。また、授業に参加しても集中できず、学習内容の理解や習得にも影響することが心配されます。加えて、物に当たったり壊したりする行為や、家族や他の人への暴力などの行為も見られると報告されています。

とはいえ、子どもの生活にゲームはすでに入り込んでいるのが現実です。ゲームは、脳の中でドーパミンを放出し、陶酔感や至福、集中力を強め、やる気の喚起につながるそうです。ゲームでの成功や達成は一時の自尊心を高めるとも言われています。ですから、インターネット環境や携帯ゲーム等は、子どもたちにとって楽しく魅力的なものであり続けるのではないのでしょうか。このような存在を、子どもたちが自ら手放すことはおそらくしないでしょう。よって、ゲームを禁止にするということではなく、「うまく付き合っていく」ということが現実的ではないかと考えます。今一度、ご家庭の中でゲームとの付き合い方を検討してみてもいかがでしょうか…。

今年度の学級目標を紹介します①

～子どもたちと担任の思いに折り合いをつけて決定！～

高校野球で、県内のみならず全国的に有名な横浜高校の元監督である渡辺氏が発した言葉の中で、「目標が、その日その日を支配する」というものがあります。また、現在メジャーリーグで活躍する大谷選手の高校時代に掲げたマンダラチャートで目標を具体化したことは有名な話です。

本校にも学校教育目標があり、あらゆる教育諸活動はその目標達成に向け具体策を講じていますが、子どもたちにとっては、学級目標こそが、最も身近なものとなります。

そこで、2回にわたり、各学級の目標をお伝えさせていただきます。スペースの関係で、詳細まで記載できず、主たるキーワードのみとなりますことをご容赦ください。

1組「やればできる！」

1年

2組「なんでもチャレンジ！」

3組「パワーアップ！」

1組「えがお～じやはやめ～」

2年

2組「適パ気」

3組「おもいやり きりかえ あいさつ」

4組「元気いっぱい やさしいいっぱい ありがとういっぱい」

いろいろなことに挑戦するクラス

1組「Synergy effect

3年

～3つの「く」で、1つの「わ」～

2組「き」～げんき、すてきさん、きょうりよく、きりかえ～

3組「3つの『あい』」～認めあい 支えあい 高めあい～

4組「わ」～「話」「輪」「和」～

中には、担任と子どもたちしかわからない言葉もありますね。ご家庭においても話題にしてくださいとうれしいです。

掲げただけでなく、中長期で考えるのではなく、定期的に進捗状況を確認し、日頃から意識する学級であることを願います



ペア学年清掃が始動

～学校をきれいにすることの意味～

写真は、いよいよ始まるペア清掃(ペア学年で行う異学年交流清掃活動)に向けて、事前打合せをしている様子です。これは、6年生と1年生になります。

以前、子どもたちにも伝えたことがあるのですが、学校は、在校生だけのものではなく、ましてや教職員のものではなく、「地域」のものであり、これから入学してくるであろう未来の開成南小を担う子たちのために存在すると考えます。つまり、一時的に借りているといえるのではないのでしょうか。そうであれば、きれいにし続けることはマストであり、そこに妥協は不要です。本校の子どもたちは、今年度から5分短くなった清掃時間をよりよいものにするためにがんばっています。一生懸命に掃除をする子は信頼できます。



協働的な学びの充実

～話し合い活動の活性化～



左の写真は、今年度採用になった先生が担任する4年生、右の写真は数年前から導入されている理科専科教員による6年生の授業の様子です。いずれの授業も「話す」「聴く」の根幹の指導から、話し合い活動を中心とした「協働的な学び」の充実へシフトチェンジしているところです。

ベストな授業スタイルというものはないため、日頃から子どもたちの実態把握をしつつ、スタイルもアップデートしたりマイナーチェンジしたりしているところです。一人では限界がある思考が、仲間とともに考えることで広がりを見せることに価値付けをし、授業が始まる前の自分と授業を終えた後の自分の変化や成長を実感することを大切にしています。

継続すること・徹底すること

平成から令和になった年に、私は箱根町立箱根の森小学校に勤務しており、町教育委員会のご配慮により、秋田県美郷町立小・中学校の視察に行かせていただきました。秋田県は、県を挙げて教育(特に学力向上)に力を入れており、それこそゆるぎない結束のもと、「秋田式〇〇」なるものを県教育委員会主導で導入していました。ここまでは、他の都道府県も多かれ少なかれ行っているかと思いますが、私が印象に残っているのは「継続」と「徹底」が共通理解されていることでした。柔軟に、そして臨機応変に対応することも大切ですが、共通理解のもと、「継続」「徹底」はとても大切です。本校においても、再確認していきたいと思っています。